

オーガニック栽培の新規就農者を増やすために

新規就農のハードル

● 土地が借りられない

(農地法的に**農業経験**と**安定した売り先**が必要)

対策)
従業員として雇用

農業経験の場を提供
輩出した農家を
加工工場で買い支え

● お金が借りられない

対策)
地方銀行と事業提携

新規オーガニック農家
向けの農業ファンドを
設立

愛媛銀行と楽天農業の業務提携（えひめ一次産業応援ファンドでの連携）



1. 開始日

2020年4月24日

2. 業務提携の目的

お互いの強みを生かして農業分野における相互連携を図り、双方が有する情報やネットワークなどの知的・人的資源を活用しながら、オーガニック野菜の普及および販路開拓支援、えひめ一次産業応援ファンド※等を活用した資金調達支援、その他付随業務などを推進する。

※ えひめ一次産業応援ファンド：当行が出資している地域の有望な第一次産業に関わる企業等へ投資するファンド。

新規就農者を支える投資ファンドの創設

オーガニックの新規就農者を増やすための取り組み

《楽天農業のミッション》

新規就農者を増やさないといけない！

① 人材育成

技術面で苦しむ新規就農希望者を農家社員として雇用し、農業法人の社長になりえる人材になるまで育成



② 資金支援

資金面で苦しむ新規就農法人としての独立の必要資金を、**地元地方銀行**と連携した農業ファンドの投資で支える。



③ 全量買取支援

規格で苦しむ新規就農者を自社のオーガニックの冷凍工場、カットサラダ工場で365日買い支える。

インキュベーションファーム

Rakuten Farm の挑戦：新規就農者の育成・支援

夢、志はあるけれど・・・

農業技術が足りない

資金はどうしたら？

農地取得は？

助成金って？

農機具は？

知識がなくて不安

経営ノウハウがない

どこに売りに行けばいいの？



全力で支援します！

知識と技術を教えあう仲間



行政情報
助成金取得支援

農作業での助け合い



農地提供



加工、製品開発



共用農機具

Rakuten Farm



検査、認証取得

スタートアップのインキュベーションオフィスの農業版：農家という起業家を輩出！

どんぐりファーム株式会社 会社概要



【中岡昌和 略歴】

- 2018年5月 楽天農業（株）入社
- 2019年7月 愛媛拠点にて伊予農場 係長昇進
- 2021年7月 楽天農業（株）退社
- 2021年9月 どんぐりファーム株式会社設立

【どんぐりファーム 会社概要】

- 社名 : どんぐりファーム株式会社
- 代表取締役 : 中岡 昌和
- 本社住所 : 愛媛県伊予市中山町出渕
- 設立 : 2021年9月
- 経営面積 : 21年～ 1.2ha (大洲市)
22年～4.4ha (大洲市・内子町)



独立農家輩出に向けた研修カリキュラムについて

座学



1年目

農業スキル研修

- 社長講習
 - 有機農業研修
 - 微生物研修
 - 独立農家講話
 - 有機JAS講習
- 等

2年目

経営スキル研修

- 会社設立・運用
 - 農業者制度と補助金
 - 資金調達方法
 - 経営マネジメント
 - 収入保険制度
- 等

1~2年目

実地スキル研修



- 楽天農業 オーガニック栽培手法の獲得
 - 模擬経営（農地収支計画作成）
 - 機械実習
- 等

独立



実地研修



農水省 「みどりの食料システム戦略」

新たな脱炭素の観点から有機農業の推進！！

■ 2050年に目指す姿

- ✓ 有機農業：面積割合25%、100万ha
- ✓ 化学農薬使用量：50%低減
- ✓ 化学肥料使用料：30%低減

農林水産省「みどりの食料システム戦略」3/29中間取りまとめより抜粋



2022年12月

島根県×JAしまね×島根県西部9市町×楽天農業

【有機野菜の産地づくりに関する連携協定締結】



出典：朝日新聞
<https://www.asahi.com/articles/ASQDV6T1YQDVPTIB004.html>



出典：日本経済新聞
<https://www.nikkei.com/article/DGXZQOCC264U80W2A212C00000/>

Rakuten Farm

APPENDIX